

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2025年11月7日まで（2017年2月21日設定）	
運用方針	値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざして運用を行います。	
主要運用対象	ベビーマザーファンド	グローバル株式インカム マザーファンド受益証券 世界主要先進国の株式
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 世界主要先進国の株式を主要投資対象とし、割安で好配当が期待される株式に投資を行います。 信用力が高いと考えられる企業へ投資することで、ファンドの安全性を高め、安定的な収益の獲得をめざします。 30年超の運用実績に裏付けられた独自の割安評価手法を持つUBSアセット・マネジメント株式会社からアドバイスを受け、運用を行います。 原則として、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 	
主な組入制限	ベビーマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 株式への投資は、制限を設けません。 外貨建資産への投資は、制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

先進国好配当株式ファンド （3カ月決算型）為替ヘッジあり



第10期（決算日：2019年8月7日）

第11期（決算日：2019年11月7日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「先進国好配当株式ファンド（3カ月決算型）為替ヘッジあり」は、去る11月7日に第11期の決算を行いましたので、法令に基づいて第10期～第11期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			(参 考 指 数) MSCI ワールド・インデックス (ネット配当込み、現地通貨建て)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
2期(2017年8月7日)	10,146	305	1.5	10,595	2.6	97.7	—	167
3期(2017年11月7日)	10,143	505	4.9	11,138	5.1	98.0	—	196
4期(2018年2月7日)	10,083	5	△0.5	11,234	0.9	95.3	—	267
5期(2018年5月7日)	10,166	5	0.9	11,384	1.3	96.8	—	274
6期(2018年8月7日)	10,177	305	3.1	11,924	4.7	97.6	—	273
7期(2018年11月7日)	9,728	5	△4.4	11,423	△4.2	98.6	—	259
8期(2019年2月7日)	9,638	5	△0.9	11,431	0.1	98.7	—	272
9期(2019年5月7日)	10,152	105	6.4	12,231	7.0	97.0	—	230
10期(2019年8月7日)	9,736	5	△4.0	11,964	△2.2	97.3	—	220
11期(2019年11月7日)	10,206	305	8.0	12,887	7.7	97.8	—	182

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド・インデックス（ネット配当込み、現地通貨建て）（出所：MSCI）の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		(参考指数) MSCI ワールド・インデックス (ネット配当込み、現地通貨建て)		株式 組入比率	株式 先物比率
		騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
第10期	(期首) 2019年5月7日	円 10,152	% —	12,231	% —	97.0	% —
	5月末	9,648	△5.0	11,724	△4.1	98.0	—
	6月末	10,120	△0.3	12,220	△0.1	98.7	—
	7月末	10,258	1.0	12,521	2.4	98.5	—
	(期末) 2019年8月7日	9,741	△4.0	11,964	△2.2	97.3	—
第11期	(期首) 2019年8月7日	9,736	—	11,964	—	97.3	—
	8月末	9,798	0.6	12,143	1.5	98.8	—
	9月末	10,143	4.2	12,432	3.9	98.6	—
	10月末	10,351	6.3	12,741	6.5	97.8	—
	(期末) 2019年11月7日	10,511	8.0	12,887	7.7	97.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第10期～第11期：2019年5月8日～2019年11月7日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第10期首	10,152円
第11期末	10,206円
既払分配金	310円
騰落率	3.6%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ3.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

組入銘柄のうちMICROSOFT CORPやZURICH INSURANCE GROUP AGなどの株価が利益成長への期待感などを背景に上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

組入銘柄のうちPLAINS GP HOLDINGS LP-CL AやPUBLICIS GROUPEなどの株価が業績の先行き不透明感などを背景に下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第10期～第11期：2019年5月8日～2019年11月7日

投資環境について

▶ 株式市況

当作成期の世界主要先進国株式は、国際政治情勢などに一喜一憂する展開となりました。

米中の通商協議について、2019年5月には両国間の反目姿勢が強まる状況となり、世界経済への影響が懸念されたことから株価は5月下旬にかけて軟調に推移しました。6月から7月にかけて、アメリカで金融政策が緩和方向へ転換することへの期待感が広がったことなどから、世界的に株価は上昇したものの、8月

は米中通商摩擦の先鋭化などを嫌気して下落しました。9月に一旦株価は持ち直したものの、10月上旬にはアメリカの製造業の景況感を示す一部指標が悪化したことなどから下押す場面がありました。その後、当作成期末にかけては、各地域で7～9月期の業績について事前に想定された以上の結果を発表した企業が多かったことや、イギリスが欧州連合（EU）から無秩序に離脱するリスクが後退したことなどから、世界的に株価は回復基調となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 先進国好配当株式ファンド（3ヵ月決算型）為替ヘッジあり

グローバル株式インカム マザーファンド受益証券の組入比率を概ね98%以上に保ち、実質的な株式の運用はマザーファンドで行いました。

マザーファンドの当作成期末の組入比率は、99.4%としました。

実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

▶ グローバル株式インカム マザーファンド

世界主要先進国の株式を主要投資対象とし、株式組入比率は高位に保ちました。UBSアセット・マネジメント株式会社からアドバイスを受け、幅広い業種の中から、相対的に高い配当が期待でき、信用力が高いと判断される銘柄に注目し、中長期的な視点に基づいて株価が割安と判断された銘柄を中心に投資してまいりました。

当作成期に新規組入、全株売却した主な銘柄のポイントは以下の通りです。

主な新規組入銘柄

NETAPP INC（アメリカ、データ記憶装

置メーカー）：取扱い製品についての顧客基盤の安定性などを評価して組み入れました。

GENERAL DYNAMICS CORP（アメリカ、防衛関連機器メーカー）：事業特性に鑑み継続的な資金創出力を維持できるとの判断などに基づいて組み入れました。日本電信電話（日本、通信サービス会社）：通信事業の資金創出力と株主還元姿勢などを評価して組み入れました。

主な全株売却銘柄

TELENOR ASA（ノルウェー、通信サービス会社）、AMERICAN WATER WORKS CO INC（アメリカ、水道会社）、CENTRICA PLC（イギリス、エネルギーサービス会社）：相対的な割安度の観点などから、他銘柄への入れ替えのため全株売却しました。

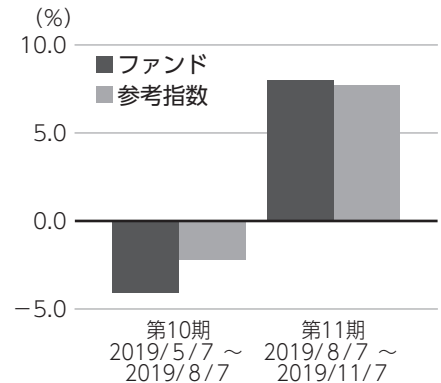
第10期～第11期：2019/5/8～2019/11/7

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCIワールド・インデックス（ネット配当込み、現地通貨建て）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第10期 2019年5月8日～2019年8月7日	第11期 2019年8月8日～2019年11月7日
当期分配金（対基準価額比率）	5 (0.051%)	305 (2.902%)
当期の収益	5	203
当期の収益以外	－	101
翌期繰越分配対象額	163	205

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 先進国好配当株式ファンド（3ヵ月決算型）為替ヘッジあり

グローバル株式インカム マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、マザーファンドを通じて株式の運用を行っていく方針です。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

▶ グローバル株式インカム マザーファンド

引き続き、世界主要先進国の株式を主要投資対象とし、株式組入比率は高位に保

つ方針です。UBSアセット・マネジメント株式会社からアドバイスを受け、株価の相対的な割安度と配当利回りに着目し、併せて財務状況が堅固と考えられる企業への投資を行います。また、より割安と判断される銘柄への入れ替えなどを随時行っていく方針です。先行きへの不透明感が漂う投資環境において、割安銘柄の株価が直ちに上昇するとは言い難く、また時機をはかることは難しいものの、中長期的には組入銘柄の価値が見直される局面が訪れるものと考えています。

2019年5月8日～2019年11月7日

1万口当たりの費用明細

項目	第10期～第11期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	68	0.682	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(33)	(0.327)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(33)	(0.327)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.046	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(5)	(0.046)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	(c) 有価証券取引税 = 作成期中の有価証券取引税 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(1)	(0.006)	
(d) その他費用	1	0.013	(d) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.011)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	75	0.747	

作成期中の平均基準価額は、10,031円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

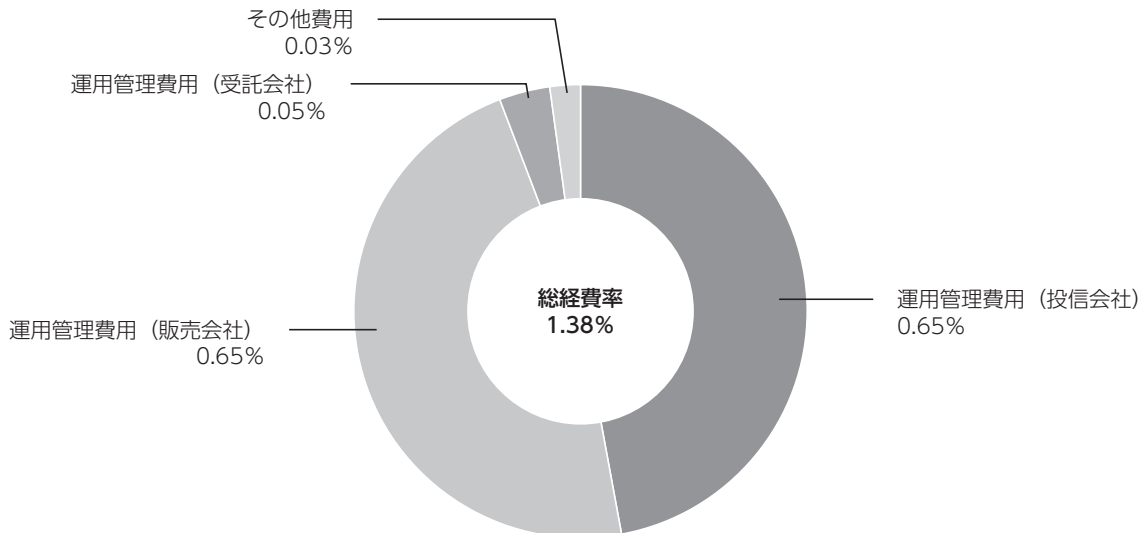
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.38%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年5月8日～2019年11月7日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第10期～第11期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル株式インカム マザーファンド	千口 9,302	千円 19,518	千口 32,036	千円 69,917

○株式売買比率

(2019年5月8日～2019年11月7日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第10期～第11期	
	グローバル株式インカム マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	5,473,559千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	16,095,696千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.34	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年5月8日～2019年11月7日)

利害関係人との取引状況

<先進国好配当株式ファンド（3ヵ月決算型）為替ヘッジあり>

区 分	第10期～第11期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 1,538	百万円 445	% 28.9	百万円 1,497	百万円 447	% 29.9

<グローバル株式インカム マザーファンド>

区 分	第10期～第11期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 1,328	百万円 —	% —	百万円 4,145	百万円 74	% 1.8
為替直物取引	784	—	—	3,643	671	18.4

平均保有割合 1.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第10期～第11期
売買委託手数料総額 (A)	101千円
うち利害関係人への支払額 (B)	0.761千円
(B) / (A)	0.8%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年11月7日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第9期末	第11期末	
	口 数	口 数	評 価 額
グローバル株式インカム マザーファンド	千口 102,647	千口 79,913	千円 181,316

○投資信託財産の構成

(2019年11月7日現在)

項 目	第11期末	
	評 価 額	比 率
グローバル株式インカム マザーファンド	千円 181,316	% 95.9
コール・ローン等、その他	7,766	4.1
投資信託財産総額	189,082	100.0

(注) グローバル株式インカム マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（13,657,703千円）の投資信託財産総額（16,026,824千円）に対する比率は85.2%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.94円	1 カナダドル=82.65円	1 ユーロ=120.54円	1 イギリスポンド=139.98円
1 スイスフラン=109.74円	1 デンマーククローネ=16.13円	1 香港ドル=13.92円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第10期末	第11期末
	2019年8月7日現在	2019年11月7日現在
	円	円
(A) 資産	411,568,348	340,929,269
コール・ローン等	3,437,518	1,661,816
グローバル株式インカム マザーファンド(評価額)	216,102,838	181,316,046
未収入金	192,027,992	157,951,407
(B) 負債	191,026,626	158,430,604
未払金	190,138,504	152,232,034
未払収益分配金	113,258	5,453,950
未払信託報酬	772,850	742,684
未払利息	4	2
その他未払費用	2,010	1,934
(C) 純資産総額(A-B)	220,541,722	182,498,665
元本	226,517,140	178,818,055
次期繰越損益金	△ 5,975,418	3,680,610
(D) 受益権総口数	226,517,140口	178,818,055口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,736円	10,206円

○損益の状況

項 目	第10期	第11期
	2019年5月8日～ 2019年8月7日	2019年8月8日～ 2019年11月7日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 222	△ 147
受取利息	—	2
支払利息	△ 222	△ 149
(B) 有価証券売買損益	△ 8,521,015	14,581,524
売買益	11,199,206	24,842,966
売買損	△19,720,221	△10,261,442
(C) 信託報酬等	△ 774,860	△ 744,618
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 9,296,097	13,836,759
(E) 前期繰越損益金	412,496	△ 7,087,374
(F) 追加信託差損益金	3,021,441	2,385,175
(配当等相当額)	(1,216,520)	(960,341)
(売買損益相当額)	(1,804,921)	(1,424,834)
(G) 計(D+E+F)	△ 5,862,160	9,134,560
(H) 収益分配金	△ 113,258	△ 5,453,950
次期繰越損益金(G+H)	△ 5,975,418	3,680,610
追加信託差損益金	3,021,441	2,385,175
(配当等相当額)	(1,216,520)	(960,341)
(売買損益相当額)	(1,804,921)	(1,424,834)
分配準備積立金	2,485,940	1,295,435
繰越損益金	△11,482,799	—

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 226,647,140円
 作成期中追加設定元本額 0円
 作成期中一部解約元本額 47,829,085円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0206円です。

②分配金の計算過程

項 目	2019年5月8日～ 2019年8月7日	2019年8月8日～ 2019年11月7日
費用控除後の配当等収益額	1,154,251円	1,365,606円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	3,406,445円
収益調整金額	1,216,520円	2,385,175円
分配準備積立金額	1,444,947円	1,977,334円
当ファンドの分配対象収益額	3,815,718円	9,134,560円
1万口当たり収益分配対象額	168円	510円
1万口当たり分配金額	5円	305円
収益分配金金額	113,258円	5,453,950円

○分配金のお知らせ

	第10期	第11期
1万口当たり分配金（税込み）	5円	305円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

グローバル株式インカム マザーファンド

《第164期》決算日2019年6月7日 《第167期》決算日2019年9月9日

《第165期》決算日2019年7月8日 《第168期》決算日2019年10月7日

《第166期》決算日2019年8月7日 《第169期》決算日2019年11月7日

[計算期間：2019年5月8日～2019年11月7日]

「グローバル株式インカム マザーファンド」は、11月7日に第169期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第164期～第169期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	世界主要先進国の株式
主 な 組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資は、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資は、制限を設けません。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) MSCIワールド・ インデックス(円換算)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
140期(2017年6月7日)	18,836	△0.5	19,902	△1.0	98.4	—	22,576
141期(2017年7月7日)	19,343	2.7	20,429	2.6	97.7	—	23,094
142期(2017年8月7日)	19,438	0.5	20,589	0.8	99.4	—	22,509
143期(2017年9月7日)	19,175	△1.4	20,260	△1.6	98.9	—	22,179
144期(2017年10月10日)	20,521	7.0	21,538	6.3	99.2	—	23,109
145期(2017年11月7日)	20,917	1.9	22,100	2.6	99.2	—	22,547
146期(2017年12月7日)	20,801	△0.6	22,021	△0.4	99.0	—	22,795
147期(2018年1月9日)	21,980	5.7	23,244	5.6	99.5	—	24,048
148期(2018年2月7日)	20,648	△6.1	21,867	△5.9	98.2	—	22,088
149期(2018年3月7日)	20,094	△2.7	21,345	△2.4	98.2	—	21,454
150期(2018年4月9日)	20,055	△0.2	20,987	△1.7	98.7	—	21,189
151期(2018年5月7日)	20,600	2.7	21,820	4.0	99.0	—	21,456
152期(2018年6月7日)	21,161	2.7	22,627	3.7	99.0	—	21,805
153期(2018年7月9日)	20,997	△0.8	22,479	△0.7	99.2	—	21,458
154期(2018年8月7日)	21,547	2.6	23,132	2.9	99.4	—	21,486
155期(2018年9月7日)	20,891	△3.0	22,869	△1.1	98.9	—	20,541
156期(2018年10月9日)	21,428	2.6	23,409	2.4	97.6	—	20,682
157期(2018年11月7日)	21,012	△1.9	22,447	△4.1	99.1	—	20,067
158期(2018年12月7日)	20,225	△3.7	21,763	△3.0	98.6	—	19,317
159期(2019年1月7日)	18,817	△7.0	20,049	△7.9	98.9	—	17,854
160期(2019年2月7日)	20,397	8.4	21,857	9.0	99.3	—	19,056
161期(2019年3月7日)	21,027	3.1	22,586	3.3	99.1	—	19,171
162期(2019年4月8日)	21,791	3.6	23,375	3.5	98.2	—	19,249
163期(2019年5月7日)	21,956	0.8	23,443	0.3	99.0	—	18,460
164期(2019年6月7日)	20,911	△4.8	22,389	△4.5	98.6	—	17,182
165期(2019年7月8日)	21,979	5.1	23,500	5.0	98.8	—	17,411
166期(2019年8月7日)	20,338	△7.5	21,998	△6.4	99.3	—	15,496
167期(2019年9月9日)	21,169	4.1	22,943	4.3	99.0	—	15,750
168期(2019年10月7日)	20,967	△1.0	22,671	△1.2	98.9	—	15,204
169期(2019年11月7日)	22,689	8.2	24,313	7.2	98.4	—	15,850

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス(円換算)は、MSCI ワールド・インデックス(米ドル建て税引き後配当込み)(出所:MSCI)の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえで設定時を10,000として指数化したものです。

MSCI ワールド・インデックス(出所:MSCI)。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものであります。その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的など一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		(参考指数) MSCIワールド・ インデックス(円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率
		円	騰落率	騰落率	%		
第164期	(期首) 2019年5月7日	21,956	—	23,443	—	99.0	—
	5月末	20,578	△6.3	22,149	△5.5	98.7	—
	(期末) 2019年6月7日	20,911	△4.8	22,389	△4.5	98.6	—
第165期	(期首) 2019年6月7日	20,911	—	22,389	—	98.6	—
	6月末	21,484	2.7	22,918	2.4	98.9	—
	(期末) 2019年7月8日	21,979	5.1	23,500	5.0	98.8	—
第166期	(期首) 2019年7月8日	21,979	—	23,500	—	98.8	—
	7月末	21,824	△0.7	23,510	0.0	99.3	—
	(期末) 2019年8月7日	20,338	△7.5	21,998	△6.4	99.3	—
第167期	(期首) 2019年8月7日	20,338	—	21,998	—	99.3	—
	8月末	20,500	0.8	22,346	1.6	99.1	—
	(期末) 2019年9月9日	21,169	4.1	22,943	4.3	99.0	—
第168期	(期首) 2019年9月9日	21,169	—	22,943	—	99.0	—
	9月末	21,513	1.6	23,147	0.9	99.0	—
	(期末) 2019年10月7日	20,967	△1.0	22,671	△1.2	98.9	—
第169期	(期首) 2019年10月7日	20,967	—	22,671	—	98.9	—
	10月末	22,359	6.6	24,036	6.0	97.9	—
	(期末) 2019年11月7日	22,689	8.2	24,313	7.2	98.4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

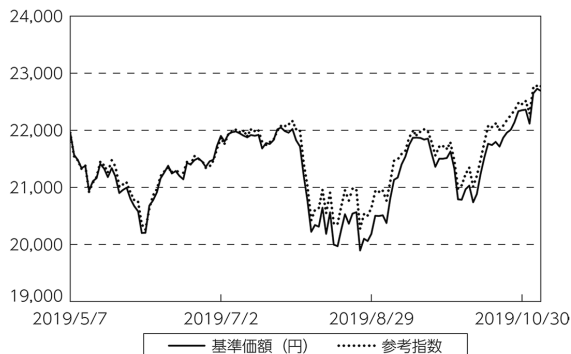
○運用経過

●当作成期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ3.3%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は作成期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

組入銘柄のうち MICROSOFT CORP や ZURICH INSURANCE GROUP AG などの株価が利益成長への期待感などを背景に上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

組入銘柄のうち PLAINS GP HOLDINGS LP-CL A や PUBLICIS GROUPE などの株価が業績の先行き不透明感などを背景に下落したことや、主な投資先通貨の米ドルや英ポンド、ユーロが円に対して下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎株式市況

- ・当作成期の世界主要先進国株式は、国際政治情勢などに一喜一憂する展開となりました。
- ・米中の通商協議について、2019年5月には両国

間の反目姿勢が強まる状況となり、世界経済への影響が懸念されたことなどから株価は5月下旬にかけて軟調に推移しました。6月から7月にかけて、アメリカで金融政策が緩和方向へ転換することへの期待感が広がったことなどから、世界的に株価は上昇したものの、8月には米中通商摩擦の先鋭化などを嫌気して下落しました。9月に一旦株価は持ち直したものの、10月上旬にはアメリカの製造業の景況感を示す一部指標が悪化したことなどから下押す場面がありました。その後、当作成期末にかけては、各地域で7-9月期の業績について事前に想定された以上の結果を発表した企業が多かったことや、イギリスが欧州連合(EU)から無秩序に離脱するリスクが後退したことなどから、世界的に株価は回復基調となりました。

◎為替市況

- ・米ドル、英ポンド、ユーロなどの主要通貨は、円に対して下落しました。
- ・米ドル、英ポンド、ユーロなどの主要通貨は当作成期首から2019年8月にかけて、欧米で金融緩和と政策が採られるとの見方が広がったことや、イギリスのEU離脱を巡る先行き不透明感などから、いずれも円に対して下落しました。その後10月にかけて、国際政治情勢を巡るリスクが後退したとの見方が広がったことなどから、これらの主要通貨は円に対して反発しましたが、当作成期を通じてみると下落する結果となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・世界主要先進国の株式を主要投資対象とし、株式組入比率は高位に保ちました。
- ・UBSアセット・マネジメント株式会社からアドバイスを受け、幅広い業種の中から、相対的に高い配当が期待でき、信用力が高いと判断される銘柄に注目し、中長期的な視点に基づいて株価が割安と判断された銘柄を中心に投資してまいりました。

- ・ 当作成期に新規組入、全株売却した主な銘柄のポイントは以下の通りです。

◎主な新規組入銘柄

- ・ NETAPP INC (アメリカ、データ記憶装置メーカー): 取扱い製品についての顧客基盤の安定性などを評価して組み入れました。
- ・ GENERAL DYNAMICS CORP (アメリカ、防衛関連機器メーカー): 事業特性に鑑み継続的な資金創出力を維持できるとの判断などに基づいて組み入れました。
- ・ 日本電信電話 (日本、通信サービス会社): 通信事業の資金創出力と株主還元姿勢などを評価して組み入れました。

◎主な全株売却銘柄

- ・ TELENOR ASA (ノルウェー、通信サービス会社)、AMERICAN WATER WORKS CO INC (アメリカ、水道会社)、CENTRICA PLC (イギリス、エネルギーサービス会社): 相対的な割安度の観点などから、他銘柄への入れ替えのため全株売却しました。

○今後の運用方針

引き続き、世界主要先進国の株式を主要投資対象とし、株式組入比率は高位に保つ方針です。UBSアセット・マネジメント株式会社からアドバイスを受け、株価の相対的な割安度と配当利回りに着目し、併せて財務状況が堅固と考えられる企業への投資を行います。また、より割安と判断される銘柄への入れ替えなどを随時行っていく方針です。先行きへの不透明感が漂う投資環境において、割安銘柄の株価が直ちに上昇するとは言い難く、また時機をはかることは難しいものの、中長期的には組入銘柄の価値が見直される局面が訪れるものと考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年5月8日～2019年11月7日)

項 目	第164期～第169期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 10 (10)	% 0.047 (0.047)	(a) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.006 (0.006)	(b) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (2) (0)	0.012 (0.012) (0.000)	(c) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	14	0.065	
作成期中の平均基準価額は、21,302円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年5月8日～2019年11月7日)

株式

		第164期～第169期			
		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 30	千円 182,646	千株 143	千円 381,264
	アメリカ	百株 645 (-)	千アメリカドル 5,215 (△ 111)	百株 2,482	千アメリカドル 18,635
外 国	カナダ	-	千カナダドル -	160	千カナダドル 273
	ユーロ	-	千ユーロ -	-	千ユーロ -
	ドイツ	20	105	835	1,474
	イタリア	-	-	640	477
	フランス	100	275	50	141
	オランダ	447	1,018	993	2,872
	ベルギー	162	1,031	-	-
	フィンランド	- (63)	- (-)	103	195
	イギリス	729	千イギリスポンド 1,207	15,670	千イギリスポンド 2,451
	スイス	-	千スイスフラン -	199	千スイスフラン 2,148
ノルウェー	-	千ノルウェークローネ -	1,208	千ノルウェークローネ 21,946	
デンマーク	340	千デンマーククローネ 7,592	-	千デンマーククローネ -	
オーストラリア	-	千オーストラリアドル -	2,098	千オーストラリアドル 3,112	
香港	-	千香港ドル -	2,000	千香港ドル 1,456	

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2019年5月8日～2019年11月7日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第164期～第169期
(a) 当作成期中の株式売買金額	5,480,178千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	16,095,696千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.34

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年5月8日～2019年11月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	第164期～第169期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
株式	百万円 1,332	百万円 —	—	百万円 4,147	百万円 74	1.8
為替直物取引	784	—	—	3,643	671	18.4

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第164期～第169期
売買委託手数料総額 (A)	7,782千円
うち利害関係人への支払額 (B)	56千円
(B) / (A)	0.7%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年11月7日現在)

国内株式

銘	柄	第163期末		第169期末	
		株数	株数	評価額	評価額
		千株	千株	千円	
医薬品 (11.7%)					
武田薬品工業		71	59	252,402	
非鉄金属 (9.8%)					
住友電気工業		164.1	133.1	210,364	
機械 (13.1%)					
ナブテスコ		107.6	84.3	283,248	
電気機器 (10.3%)					
東京エレクトロン		11.2	10	221,600	
輸送用機器 (10.2%)					
トヨタ自動車		33.9	28.5	220,476	
その他製品 (10.1%)					
任天堂		5.2	5.2	218,400	
情報・通信業 (7.7%)					
日本電信電話		—	30	165,000	
卸売業 (14.2%)					
伊藤忠商事		165	133	306,432	
その他金融業 (12.9%)					
オリックス		198	160	278,720	
合計	株数・金額	756	643	2,156,642	
	銘柄数<比率>	8	9	<13.6%>	

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	第163期末		第169期末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
JPMORGAN CHASE & CO	442	330	4,275	465,793	銀行
WALT DISNEY CO/THE	168	168	2,205	240,249	メディア・娯楽
FIRSTENERGY CORP	541	441	2,077	226,328	公益事業
GENERAL DYNAMICS CORP	—	80	1,452	158,241	資本財
INGERSOLL-RAND PLC	170	144	1,892	206,210	資本財
JOHNSON & JOHNSON	321	267	3,496	380,923	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A	815	679	3,545	386,272	食品・飲料・タバコ
ELI LILLY & CO	320	256	2,913	317,428	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LAS VEGAS SANDS CORP	480	430	2,715	295,821	消費者サービス
BANK OF AMERICA CORP	1,118	978	3,208	349,480	銀行
PEPSICO INC	280	216	2,903	316,351	食品・飲料・タバコ
SCHLUMBERGER LTD	550	460	1,635	178,199	エネルギー
WELLS FARGO & CO	938	747	4,018	437,814	銀行
CONAGRA BRANDS INC	637	587	1,634	178,030	食品・飲料・タバコ
MICROSOFT CORP	816	648	9,346	1,018,172	ソフトウェア・サービス
COMCAST CORP-CLASS A	929	809	3,577	389,721	メディア・娯楽
NETAPP INC	—	300	1,736	189,163	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
AGCO CORP	290	225	1,759	191,704	資本財
AMERIPRISE FINANCIAL INC	166	156	2,462	268,294	各種金融
EASTMAN CHEMICAL CO	208	—	—	—	素材
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	370	355	2,971	323,698	食品・飲料・タバコ
DELTA AIR LINES INC	439	409	2,355	256,556	運輸
LOGMEIN INC	—	190	1,325	144,434	ソフトウェア・サービス
AMERICAN WATER WORKS CO INC	187	—	—	—	公益事業
GENERAL MOTORS CO	797	656	2,520	274,567	自動車・自動車部品
NXP SEMICONDUCTORS NV	158	135	1,572	171,291	半導体・半導体製造装置
PLAINS GP HOLDINGS LP-CL A	1,721	1,428	2,731	297,598	エネルギー
BROADCOM INC	126	106	3,319	361,625	半導体・半導体製造装置
ERIE INDEMNITY COMPANY-CL A	172	121	2,139	233,092	保険
小 計	株 数	株 数	金 額	金 額	
	銘柄 数 < 比 率 >	銘柄 数 < 比 率 >	—	—	< 52.1% >
(カナダ)			千カナダドル		
CANADIAN NATURAL RESOURCES	480	420	1,433	118,510	エネルギー
HUSKY ENERGY INC	1,062	962	983	81,270	エネルギー
小 計	株 数	株 数	金 額	金 額	
	銘柄 数 < 比 率 >	銘柄 数 < 比 率 >	—	—	< 1.3% >
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES	367	307	1,615	194,687	自動車・自動車部品
DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	775	—	—	—	電気通信サービス
LANXESS AG	310	330	2,010	242,328	素材
小 計	株 数	株 数	金 額	金 額	
	銘柄 数 < 比 率 >	銘柄 数 < 比 率 >	—	—	< 2.8% >
(ユーロ…イタリア)					
BANCA MEDIOLANUM SPA	3,005	2,615	2,039	245,865	各種金融
INFRASTRUTTURE WIRELESS ITAL	2,320	2,070	1,882	226,936	電気通信サービス
小 計	株 数	株 数	金 額	金 額	
	銘柄 数 < 比 率 >	銘柄 数 < 比 率 >	—	—	< 3.0% >
(ユーロ…フランス)					
VALEO SA	545	595	2,072	249,805	自動車・自動車部品

銘柄	株数	第163期末		第169期末		業種等
		株数	株数	評価額	評価額	
		株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…フランス)		百株	百株	千ユーロ	千円	
PUBLICIS GROUPE		297	297	1,178	142,055	メディア・娯楽
小計	株数・金額	842	892	3,250	391,861	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<2.5%>	
(ユーロ…オランダ)		—	447	1,084	130,770	食品・生活必需品小売り
KONINKLIJKE AHOLD DELHAIZE N		—	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
UNILEVER NV-CVA		257	—	—	—	銀行
ABN AMRO BANK NV-CVA		656	—	—	—	保険
ASR NEDERLAND NV		545	465	1,613	194,497	
小計	株数・金額	1,458	912	2,698	325,267	
	銘柄数<比率>	3	2	—	<2.1%>	
(ユーロ…ベルギー)		—	162	1,055	127,241	銀行
KBC GROUP NV		—	162	1,055	127,241	
小計	株数・金額	—	162	1,055	127,241	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<0.8%>	
(ユーロ…フィンランド)		670	630	2,318	279,471	保険
SAMPO OYJ-A SHS		670	630	2,318	279,471	
小計	株数・金額	670	630	2,318	279,471	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.8%>	
ユーロ計	株数・金額	9,747	7,918	16,871	2,033,659	
	銘柄数<比率>	11	10	—	<12.8%>	
(イギリス)		5,217	4,437	千イギリスポンド	319,365	エネルギー
BP PLC		1,703	1,513	2,281	152,584	ソフトウェア・サービス
SAGE GROUP PLC/THE		2,142	1,942	1,090	162,588	銀行
HSBC HOLDINGS PLC		613	572	1,161	227,865	食品・飲料・タバコ
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC		13,750	—	—	—	公益事業
CENTRICA PLC		978	1,608	2,769	387,646	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GLAXOSMITHKLINE PLC		518	488	1,271	177,948	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SPECTRIS PLC		879	809	1,675	234,584	素材
ANGLO AMERICAN PLC		2,710	2,200	1,149	160,876	商業・専門サービス
BABCOCK INTL GROUP PLC		28,511	13,570	13,026	1,823,458	
小計	株数・金額	28,511	13,570	13,026	1,823,458	
	銘柄数<比率>	9	8	—	<11.5%>	
(スイス)		340	293	千スイスフラン	253,629	耐久消費財・アパレル
CIE FINANCIERE RICHEMONT-REG		106	83	2,311	354,710	保険
ZURICH INSURANCE GROUP AG		268	197	3,232	188,261	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NOVARTIS AG-REG		58	—	1,715	—	ヘルスケア機器・サービス
ALCON INC		773	573	7,258	796,601	
小計	株数・金額	773	573	7,258	796,601	
	銘柄数<比率>	4	3	—	<5.0%>	
(ノルウェー)		1,208	—	千ノルウェークローネ	—	電気通信サービス
TELENOR ASA		1,208	—	—	—	
小計	株数・金額	1,208	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	
(デンマーク)		—	340	千デンマーククローネ	129,427	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
H LUNDBECK A/S		—	340	8,024	129,427	
小計	株数・金額	—	340	8,024	129,427	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<0.8%>	
(オーストラリア)		2,098	—	千オーストラリアドル	—	食品・生活必需品小売り
COLES GROUP LTD		2,098	—	—	—	
小計	株数・金額	2,098	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	

銘	柄	第163期末		第169期末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
		株 数	株 数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(香港) WH GROUP LTD		百株 19,200	百株 17,200	千香港ドル 14,912	千円 207,580	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	19,200	17,200	14,912	207,580	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.3%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	76,241	52,308	—	13,447,576	
	銘 柄 数 < 比 率 >	55	52	—	<84.8%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2019年11月7日現在)

項 目	第169期末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 15,604,218	% 97.4
コール・ローン等、その他	422,606	2.6
投資信託財産総額	16,026,824	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産（13,657,703千円）の投資信託財産総額（16,026,824千円）に対する比率は85.2%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.94円	1 カナダドル=82.65円	1 ユーロ=120.54円	1 イギリスポンド=139.98円
1 スイスフラン=109.74円	1 デンマーククローネ=16.13円	1 香港ドル=13.92円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第164期末	第165期末	第166期末	第167期末	第168期末	第169期末
	2019年6月7日現在	2019年7月8日現在	2019年8月7日現在	2019年9月9日現在	2019年10月7日現在	2019年11月7日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	17,242,060,749	17,527,018,644	15,583,583,847	15,812,612,930	15,230,548,899	16,187,363,576
コール・ローン等	165,311,697	203,282,412	84,610,615	131,157,061	117,050,453	252,093,699
株式(評価額)	16,946,764,337	17,206,407,656	15,380,470,770	15,590,556,604	15,039,733,435	15,604,218,631
未収入金	56,988,069	71,959,411	96,419,749	48,083,526	21,308,785	284,074,537
未配当金	72,996,646	45,369,165	22,082,713	42,815,739	52,456,226	46,976,709
(B) 負債	60,012,731	115,515,873	87,253,770	61,922,892	25,550,477	336,396,850
未払金	39,874,860	71,631,549	47,769,000	21,388,000	—	171,990,587
未払解約金	20,137,770	43,884,053	39,484,450	40,534,694	25,550,447	164,406,039
未払利息	101	271	80	198	30	224
その他未払費用	—	—	240	—	—	—
(C) 純資産総額(A-B)	17,182,048,018	17,411,502,771	15,496,330,077	15,750,690,038	15,204,998,422	15,850,966,726
元本	8,216,776,127	7,921,783,944	7,619,306,121	7,440,621,774	7,251,841,516	6,986,190,226
次期繰越損益金	8,965,271,891	9,489,718,827	7,877,023,956	8,310,068,264	7,953,156,906	8,864,776,500
(D) 受益権総口数	8,216,776,127口	7,921,783,944口	7,619,306,121口	7,440,621,774口	7,251,841,516口	6,986,190,226口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,911円	21,979円	20,338円	21,169円	20,967円	22,689円

○損益の状況

項 目	第164期	第165期	第166期	第167期	第168期	第169期
	2019年5月8日～ 2019年6月7日	2019年6月8日～ 2019年7月8日	2019年7月9日～ 2019年8月7日	2019年8月8日～ 2019年9月9日	2019年9月10日～ 2019年10月7日	2019年10月8日～ 2019年11月7日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	91,890,495	48,336,371	7,891,721	51,330,953	57,917,340	14,254,132
受取配当金	91,783,575	48,248,212	7,805,819	51,208,855	57,879,581	14,202,137
受取利息	113,114	76,720	90,838	125,929	40,934	53,905
その他収益金	—	17,305	—	343	—	—
支払利息	△ 6,194	△ 5,866	△ 4,936	△ 4,174	△ 3,175	△ 1,910
(B) 有価証券売買損益	△ 976,672,307	812,494,155	△ 1,265,716,809	565,819,039	△ 197,451,851	1,219,715,367
売買益	224,443,589	908,984,415	56,209,396	699,911,394	174,989,374	1,345,379,745
売買損	△ 1,201,115,896	△ 96,490,260	△ 1,321,926,205	△ 134,092,355	△ 372,441,225	△ 125,664,378
(C) 保管費用等	△ 612,404	—	△ 345,782	△ 213,513	△ 265,962	△ 500,038
(D) 当期繰越損益 (A+B+C)	△ 885,394,216	860,830,526	△ 1,258,170,870	616,936,479	△ 139,800,473	1,233,469,461
(E) 前期繰越損益金	10,052,194,992	8,965,271,891	9,489,718,827	7,877,023,956	8,310,068,264	7,953,156,906
(F) 追加信託差損益金	97,744,914	1,132,421	3,114,068	6,536,821	1,824,598	—
(G) 解約差損益金	△ 299,273,799	△ 337,516,011	△ 357,638,069	△ 190,428,992	△ 218,935,483	△ 321,849,867
(H) 計 (D+E+F+G)	8,965,271,891	9,489,718,827	7,877,023,956	8,310,068,264	7,953,156,906	8,864,776,500
次期繰越損益金 (H)	8,965,271,891	9,489,718,827	7,877,023,956	8,310,068,264	7,953,156,906	8,864,776,500

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首 (前作成期末) 元本額 8,407,958,198円
 作成期中追加設定元本額 94,318,959円
 作成期中一部解約元本額 1,516,086,931円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末2,2689円です。
- ② 作成期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 先進国好配当株式ファンド (3ヵ月決算型) 2,758,940,542円
 グローバル財産3分法ファンド (毎月決算型) 1,999,489,813円
 グローバル株式インカム (毎月決算型) 1,456,486,052円
 先進国好配当株式ファンド (年2回決算型) 623,235,248円
 先進国好配当株式ファンド (3ヵ月決算型) 為替ヘッジあり 79,913,635円
 先進国好配当株式ファンド (年2回決算型) 為替ヘッジあり 68,124,936円
 合計 6,986,190,226円